

質量分析

(Mass Spectrometry) 講習会

本講演では、ライフサイエンスにおいて質量分析で何が出来るか、この点について、これから技術を取り入れる側の視点で紹介することを目的とします。

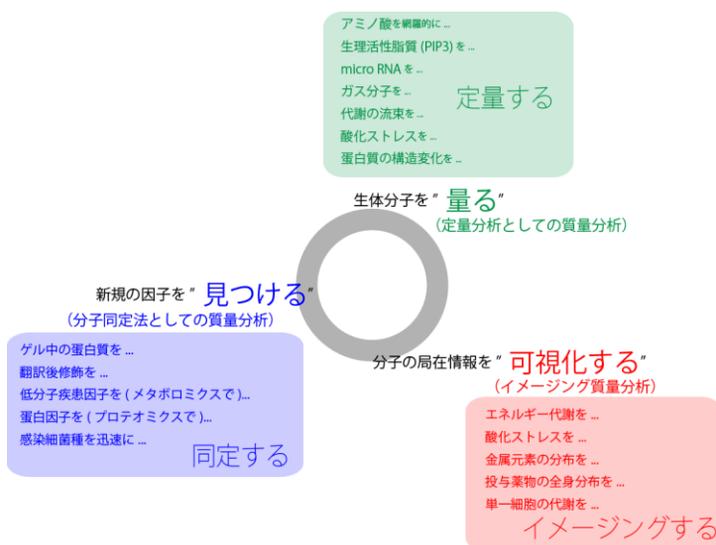
先端の質量分析技術は、日常的に触れることのないライフサイエンスの研究者からはどうしても”敷居が高く”感じられてしまう傾向があります。たとえば、専門性が高い(何から始めればいいのか分からない)、高額な機器を使う(壊れたらどうしよう)、という心理的な障壁を感じるニューカマーは少なくないでしょう。さらに使用可能な質量分析計にアクセスできないという物理的な障壁も考えられます。

このような壁を取り払う一助として、あくまでライフサイエンスの文脈から何が出来るかについて解説します。この意図で、生命科学研究の文脈から何が出来るかについて、三つの”出来る”事例を取り挙げたいと思います。

すなわち、質量分析によって

- (1) 生体分子を”量る”、
- (2) 新規の因子を”見つける”、
- (3) 分子情報の局在を”可視化する”。

このような”出来る”事例からのボトムアップで、ご自身の研究の問題解決の鍵となる技術やアイデアにたどり着けるヒントとなれば幸いに思います。



日時：2020年12月1日(火) 15:00-16:00

形式：Web会議(Zoom) ※事前申込み

講師：杉浦 悠毅 先生 医化学教室 専任講師

対象：医学部研究者、JKiC JSR研究員

申込先：JKiC産学医連携部門

jkiic-info@adst.keio.ac.jp